

2025. 9

P. 1、P. 7 音楽学コース「口述試験」日程に変更があります

2026年度

桐朋学園大学

大学院 音楽研究科 音楽専攻

修士課程(外国人留学生)

# 学生募集要項



Toho Gakuen Graduate School of Music

TOKYO

# 桐朋学園大学大学院 音楽研究科 音楽専攻

## 修士課程（外国人留学生） 学生募集要項

### 目次

アドミッション・ポリシー	1
学生募集要項	1
1. 募集人員	1
2. 試験日	1
3. 試験会場	1
4. 入学検定料	1
5. 合格発表 及び 入学手続書類の送付	2
6. 出願資格	2
7. 出願書類	3
8. 出願書類記入上の諸注意	4
9. 出願手続	6
10. 入学試験実施日程、試験科目及び注意事項	7
11. 実技試験課題	8
12. 入学の条件	11
13. 入学手続	11
14. 入学金・授業料等	12
カリキュラムについて	12
カリキュラム・ポリシー	12
修了要件等について	12
特待生および奨学金制度、学生会館について	13
特待生制度	13
奨学金制度	13
学生会館	13
学生募集要項全般に関する問い合わせ先	13
交通機関案内図	14

### 個人情報の取扱について

出願にあたって記入していただいた、氏名・住所・その他の個人情報は、個人情報保護法に則り、万全の体制で管理いたします。

## アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科 修士課程では、以下のような意欲と能力を備えた者を、入学試験によって選抜する。

- \* 高度に専門的かつ広汎な視野に立ち、音楽についての学識と技術をもった音楽の実践、創作、研究を行う意欲のある者
- \* 社会における音楽の役割について強い自覚を有し、幅広い視野から知的な関心や柔軟な感性を育むことのできる者
- \* 本学の建学の精神と教育目的に基づき、学修するのに相応しい豊かな人間性を有する者

## 学生募集要項

### 1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
音楽	ピアノ	若干名
	弦楽器(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス)	
	声楽	
	作曲	
	音楽学	

※ 標準修業年限は2年(4年まで在籍可)

※ ピアノコースは「ソロ」「歌曲伴奏」「コレペティツィオン」のいずれかを選択

※ 声楽コースは「オペラ」「歌曲」のどちらを中心に学ぶかを選択

※ 作曲コースは「創作」「MSD (Music and Sound Design)」のいずれかを選択

### 2. 試験日

2025年11月1日(土) ※音楽学コースは、2025年11月1日(土)・11月2日(日)

### 3. 試験会場

桐朋学園大学 調布キャンパス (東京都調布市調布ヶ丘1-10-1)

### 4. 入学検定料

30,000 円

## 5. 合格発表 及び 入学手続書類の送付

- 1) 発表日: **2025年11月12日(水) 午前11時予定**
- 2) 発表方法: 合格者の「受付番号」を本学ホームページで発表する。
- 3) 書類の送付: 合格者には、入学手続書類(合格者心得)を送付する。(PDFのメール送付および郵送)

## 6. 出願資格

以下の条件をすべて満たす者。

- 1) 日本国以外の国籍を有する者(ただし、在留資格「永住者」を除く)。かつ、本学への入学を専願とする者
- 2) 次の①～③のいずれかを満たす者
  - ① 外国において学校教育における16年の課程を修了し(2026年3月末までに修了見込みの者を含む)、その国において大学入学資格を有する者
  - ② 外国の大学等において修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者(2026年3月までに授与される見込みの者を含む)
  - ③ そのほか上記の者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- 3) 入学後「留学」の在留資格に変更できる者
- 4) 確実な身元保証人が日本国内にいる者。身元保証人は、独立して生計を営む成年者で、志願者の学費と一身上の一切の責任を負うことができる者であること。

※前述2)③に該当する場合、事前に入学資格認定審査を行うので、**2025年9月12日(金)午後4時(日本標準時(Japan Standard Time; GMT+09:00))までに問い合わせること。**  
問い合わせ先はP.13参照。

### 【日本語能力について】

作曲コース及び音楽学コースについては、講義をディスカッション形式で行う関係上、専門分野について日本語で議論を行う能力が望まれる。日本語能力に関しては、小論文・口述試験を通じて、評価する。

ピアノコース・弦楽器コース・声楽コースについては、日本で生活する関係上、日常生活程度の日本語はできることが必要であるが、講義は英語のみで修了できるカリキュラムを用意するので、特定の日本語能力は求めない。また、口述試験での言語選択は合否に影響しない。

いずれのコースも、日本語能力試験(Japanese-Language Proficiency Test)N2レベル以上を取得していることが望ましい。

## 7. 出願書類

出願書類一式:

1) 志願票	
2) 受験曲目票	作曲、音楽学コースの志願者は提出不要
3) 作曲作品(任意の2作品の楽譜)	作曲コースのみ提出
4) 履歴書	
5) 研究計画書	
6) 受験証	
7) 出身大学等発行の成績証明書	<b>注1</b>
8) 出身大学等発行の卒業(又は卒業見込)がわかる証明書類および学士(Bachelor)の学位取得がわかる証明書類	卒業見込証明書を提出した場合は、合格通知を受けた後に卒業証明書を提出すること。 <b>注1</b>
9) 戸籍抄本またはこれに代わる証明書	母国における出生や親子関係の記載がある証明書(戸口簿のコピー等)。原語1通および日本語(または英語)1通。証明書が提出できない場合は、証明書のCertified True Copy <b>注2</b> を提出すること
10) パスポートのコピー (日本国外在住の外国籍志願者のみ)	氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズ用の紙にコピーして提出すること。
11) 在留カードのコピーまたは住民票 (日本国内在住の外国籍志願者のみ)	在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくても、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーすること。 住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3ヵ月以内に発行されたものを提出すること。
12) 受験料の振り込みを証明する書類	本学口座に入学検定料を振り込みまたは送金したことが分かる書類
13) 受験証返送用封筒	<b>長3サイズ</b> (おおむね、縦235mm×横120mm程度の封筒)。 <b>410円分(110円+速達料金300円)の切手または、国際返信切手券(international reply coupon, IRC)同封のこと。志願者本人が受け取る住所・宛名を記入する。</b>

**注1:** 出身大学等が発行したもので、日本語または英語で作成された原本を提出すること。

日本語または英語以外の言語で作成された証明書類しか提出できない場合、日本語または英語の翻訳を作成し、正しく翻訳されたものであることを証明する「翻訳証明」を添付すること。

「翻訳証明」は、当該証明書の発行機関・大使館等または国で認可された公証役場・翻訳機関等で公証印を受けたもののみ受け付ける。翻訳会社・日本語学校が発行したものは出願書類として認められない。原本を提出できない場合は、「原本証明がなされたコピー(Certified True Copy**注2**)」を提出すること。

**注2:** Certified True Copy(原本証明がなされたコピー)は、当該証明書の発行機関・大使館または国で認可された公証役場等の公的機関が、原本のコピー(複写)であることを確認した旨を記載し、機関印を押印して証明した書類のみ受付可能。原本を提出すること。翻訳会社・日本語学校は、原本証明を行う機関として認められない。

※1)、2)、4)、5)、6)のフォーマットは、以下の本学 WEB サイトからダウンロードし、A4版で提出すること。

入試要項の閲覧: <https://www.tohomusic.ac.jp/college/admissions/m-nyushiyoko/>

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とする。

※身体の障がい等により、受験上の特別な措置が必要な場合は、出願時に申し出ること。

不慮の事故等により、緊急的に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合は、判明次第本学まで申し出ること。

## 8. 出願書類記入上の諸注意

提出する書類への記入は楷書(アルファベットの場合はブロック体)とすること。  
記載にあたっては、書式に記されている注意事項等を順守すること。

志願票	
楽器略語・コード	「楽器略語・コード」表に従って記入する。
氏名	戸籍名(registered name)をアルファベットで記入する。 姓と名に分け、フリガナ(日本語での読み方)を添える。
生年月日	西暦で年月日を記入する。2026年4月1日現在の年齢をあわせて記入する。
性別	男、女 いずれかの記入。記入は任意。
本人連絡先等	入学手続書類等の送付先にもなるので、郵便番号、住所、電話番号(国別番号から始めること。)等を正確に記入する。 自宅TEL・携帯TELの環境がない場合は「なし」と記入する。 メールアドレスは「@tohomusic.ac.jp」からのEメールを受信できるアドレスを記入する。
保証人	必ず記入のこと。国内在住者であること。本人・未成年者は不可。
出願資格(出身大学等)	出身大学等の学校区分、名称、専攻、卒業(卒業見込)年月について記入する。
音楽学コース・小論文言語	音楽学コース志願者のみ記入すること。日本語または英語のいずれかを選択の上、○をつける。
実技担当希望教員	本学において決定するが、希望がある場合は希望教員名を記入する。 ただし、希望通りにならない場合がある。
楽器の使用希望 (コントラバスのみ)	入試で本学の楽器を使用する場合は、○を記入すること。
写真	タテ4cm×ヨコ3cmの大きさに3ヶ月以内に撮影した無帽で背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。
障がいおよび配慮希望 の有無・内容	障がいがある場合は診断名および配慮希望の有無、内容を記入すること。 ※任意、別紙可、可否には一切関わりません。

受験曲目票									
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。								
コース選択	実技試験課題を参照。ピアノと声楽は研究内容により、異なる試験課題を選択する。 ピアノは(1)、(2)、(3)のいずれか、声楽は「オペラ」・「歌曲」のいずれかを○で囲む。 ピアノ、弦楽器、声楽は、口述試験の際の言語(日本語または英語)を選択する。								
曲目の記入方法	課題記号・番号を( )内に記入し、演奏曲目を具体的・詳細に記入する。 <u>出願後の受験曲目等の変更は認めない。</u> (記入例)ピアノコースで<歌曲伴奏>を選択する場合の記入例 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>コース選択</td> <td>ピアノ：(1)・(2)・(3)</td> </tr> <tr> <td>課題記号・番号</td> <td>( a ) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)</td> </tr> <tr> <td>課題記号・番号</td> <td>( a ) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cécilie Op.27-2</td> </tr> <tr> <td>課題記号・番号</td> <td></td> </tr> </table> <p>※&lt;歌曲伴奏&gt;の課題(a)に関して、受験曲目票には演奏順に記入すること。</p>	コース選択	ピアノ：(1)・(2)・(3)	課題記号・番号	( a ) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)	課題記号・番号	( a ) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cécilie Op.27-2	課題記号・番号	
コース選択	ピアノ：(1)・(2)・(3)								
課題記号・番号	( a ) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)								
課題記号・番号	( a ) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cécilie Op.27-2								
課題記号・番号									
伴奏者・共演者氏名	受験曲に伴奏者・共演者が必要な場合は、伴奏者・共演者の氏名を記入する。								
作曲コース・提出作品	提出する2作品の作品タイトルを記入すること。提出媒体該当するものを○で囲む。(複数可)								

研究計画書 (日本語または英語)	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。
研究テーマ 等	入学後の研究テーマ等を具体的に記入する。

履歴書	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。
学歴	高等学校から最終出身学校まで記入する。
職歴	職歴がある場合は記入する。ない場合は空欄でよい。
音楽歴	これまでに師事した指導者やコンクール入賞歴等を簡潔に記入する。 欄が不足する場合は裏面を使用しても良い。

受験証	
楽器略語	「楽器略語・コード」表に従って記入する。
氏名	戸籍名 (registered name) をアルファベットで記入する。 フリガナ (日本語での読み方) を添える。
写真	タテ4cm×ヨコ3cmの大きさに3ヶ月以内に撮影した無帽で背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「志願票」にも同じ写真を貼ること。

## 9. 出願手続

### ◆「出願書類一式」の提出:

#### 1) 出願期間

**2025年10月1日(水)～10月10日(金) 期間内必着**

※外国在住者で日本への郵便到着に不安がある場合は、提出書類のPDFを事前にメールで送付すること。  
ただし、PDFのメール送付だけでは出願受付はできないため、必ず書類を郵送すること。

メール送付先: exam@tohomusic.ac.jp

#### 2) 提出先

[宛先] 〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 桐朋学園大学 事務局入試係

「7. 出願書類(P.3)」 1)～13)を「大学院 修士課程 出願書類在中」と記載の封筒に封入し、EMSで送付すること。

### ◆入学検定料の納入:

出願書類の提出に先立って出願者は検定料(30,000円)を下記の本学指定の銀行口座へ振込むこと。

◎注 受験をキャンセルした場合等においても、納入された入学検定料は返還しない。

#### ○海外送金

振込銀行 (TRANSFER BANK)	MIZUHO BANK, LTD
銀行支店 (TRANSFER BANK BRANCH)	CHOFU BRANCH
銀行住所 (TRANSFER BANK ADDR, COUNTRY)	1-36-16 KOJIMACHO CHOFU TOKYO JAPAN
スイフトコード* (SWIFT CODE)	MHCBJPJT
口座番号 (PAYEE A/C NO.)	261-0230632
振込先口座名 (PAYEE NAME)	TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC
受取人住所 (PAYEE ADDR, COUNTRY)	1-41-1 WAKABACHO CHOUFU TOKYO JAPAN
<p>※振込みの際は、振込人名義を「受験者名」とし、名前の前に「1144」と加えること。(例:1144 Toho Taro)          ※送金に手数料が発生する場合は、依頼人負担とすること(手数料支払い区分を「OUR」とすること)。</p>	

#### ○日本国内からの納入

[振込先]	みずほ銀行調布支店	当座 9778
	三菱 UFJ 銀行仙川支店	当座 49612
	三井住友銀行国領支店	当座 1015159
[振込先口座名義]	学校法人桐朋学園音楽科【ガク】トウホウガクエンオンガクカ】	
<p>◎注 銀行振込みの際は、振込人名義を必ず「受験生名」とし、名前の前に「1144」と加えること          (例:1144トウホウタロウ)</p>		



## 10. 入学試験実施日程、試験科目及び注意事項

## 1) 選抜方法

次の試験科目の試験結果、および出身大学等の成績を総合的に判断して選抜する。

## 2) 試験実施日程及び試験科目

## ◇ピアノ、弦楽器、声楽コース

2025年11月1日(土)	実技試験、口述試験(日本語または英語による)
---------------	------------------------

試験科目	概要等
1. 実技試験	試験課題は「10. 実技試験課題」(P.8以降を参照) <u>伴奏者・共演者が必要な場合は、各自同伴すること。</u>
2. 口述試験	出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。

## ◇作曲コース

2025年11月1日(土)	小論文試験(2時間) 午前(予定) 口述試験 午後(予定)
---------------	----------------------------------

試験科目	概要等
1. 作曲作品提出	指定された課題を2点提出する。(P.11参照)
2. 小論文	与えられたテーマについて日本語で書く。 (600~800字、2時間、辞書持ち込み不可)
3. 口述試験	提出された作曲作品及び専攻分野に関し、 <u>日本語による</u> 口頭試問を行う。

## ◇音楽学コース

2025年11月1日(土)	小論文試験(90分間) 10:00~11:30 <del>口述試験</del> <del>午後(予定)</del>
2025年11月2日(日)	口述試験 14:30以降(予定)

試験科目	概要等
1. 小論文	専門に関わる小論文(日本語または英語による。辞書持込可)
2. 口述試験	小論文及び出願書類「研究計画書」等に基づく、 <u>日本語による</u> 口頭試問を行う。

- ※ 実技試験・口述試験の集合時間は、本学から事前に通知する。  
ただし、実施日の3日前までに連絡のない場合は、本学まで問い合わせること。
- ※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」にて確認すること。
- ※ 志願者、伴奏者、共演者以外の入構は禁止する。
- ※ 受験を取りやめる場合は、本学まで必ず連絡すること。

## 11. 実技試験課題

## ◇ピアノコース

次の(1)、(2)、(3)のいずれかを選択し、その課題を演奏すること。

ピアノソロを主に研究する者は(1)を、歌曲伴奏を主に研究する者は(2)を、コレペティツィオンを主に研究する者は(3)を選択すること。

## (1) &lt;ソロ分野&gt;

次の(a)、(b)、(c)をすべて演奏すること。全体で30分程度とする。

- (a) バロックから古典派の作品
- (b) ロマン派以降の作品
- (c) F.Chopin, F.Liszt, C.Deubussy, S.Rachmaninoff, A.Scriabin, B.Bartók, I.Stravinsky, K.Szymanowski, S.Prokofieff, G.Ligeti の練習曲より1曲

- \*暗譜で演奏すること。
- \*ピアノ独奏用作品に限る。
- \*出版されているものに限る。
- \*内部奏法等を含んだ作品は除く。
- \* (a)、(b)とも、7分以上とする。複数の曲でも可。
- \*ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。
- \*変奏曲の抜粋は不可。
- \*繰り返しは自由。
- \*時間の都合により、一部省略させることがある。

## (2) &lt;歌曲伴奏分野&gt;

次の(a)、(b)を演奏すること。

(a)下記の歌曲(I)、(II)から選択して12分程度のプログラムを共演者(各自同伴)と演奏すること。

(I)、(II)それぞれから必ず1曲以上含むこと。

(I)

F.Schubert: Frühlingsglaube 春の信仰 D686 (op.20-2)  
 Der Musensohn ミューズの子 D764 (op.92-1)  
 Auf dem Wasser zu singen 水の上で歌う D774 (op.72)

R.Schumann: Der Nussbaum くるみの木 op.25-3  
 Mondnacht 月夜 op.39-5  
 Liebeslied 愛の歌 op.51-5

J.Brahms: Meine Liebe ist grün 私の恋は緑にもえ op.63-5  
 Wir wandelten 私たちはそぞろ歩いた op.96-2  
 Botschaft ことづて op.47-1

R.Strauss: Ständchen セレナード op.17-2  
 Heimliche Aufforderung ひそやかな誘い op.27-3  
 Schlagende Herzen 高鳴る胸 op.29-2

C.Deubussy: Mandoline マンドリン  
 Green 水彩画 1:グリーン

(II)

- F.Schubert: Rastlose Liebe 憩いなき恋 D138 (op.5-1)  
 R.Schumann: Aufträge ことづて op.77-5  
 J.Brahms: Bei dir sind meine Gedanken 私の想いはあなたのもとへ op.95-2  
 R.Strauss: Cäcilie ツェツィーリエ op.27-2  
 中田 喜直: サルビア  
 團 伊玖磨: 紫陽花

- (b) F.Chopin: Etudes op.10、op.25 より任意の1曲(ただし op.10-6 と op.25-7 は除く)

※(a)は演奏順で受験曲目票に記入すること。

※(b)は暗譜で演奏すること。

※時間の都合により、一部省略させることがある。

**(3) <コレペティツィオン分野>**

次の(a)、(b)、(c)を演奏すること

- (a) W.A.Mozart: 任意の Piano Sonata より 第1楽章(繰り返しは省略すること)  
 (b) G.Puccini: La Bohème より 第2幕 冒頭から練習番号8まで(Ricordi 版)  
 (c) G.Puccini: Manon Lescaut より 第2幕 練習番号 25 から練習番号 38 の前まで(Ricordi 版)

※(a)は暗譜で演奏すること。

※(b)、(c)はオーケストラパート(ヴォーカルスコアのピアノパートで構わない)を演奏すること。

※時間の都合により、一部省略させることがある。

※譜めくりの同伴は認めないので、1人で演奏可能のように準備すること。

**◇弦楽器コース**

**<ヴァイオリン>**

以下の(1)、(2)を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) J.S.Bach: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ(BWV 1001、1003、1005)より任意の1曲  
 第1楽章と第2楽章  
 (2) 任意のヴァイオリン協奏曲1曲より  
 第1楽章(カデンツァがあるものはそれを含む)または終楽章

**<ヴィオラ>**

以下の(1)および(2)を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) J.S. Bach: 無伴奏パルティータ(BWV 1002、1004、1006)、無伴奏ソナタ(BWV 1001、1003、1005)、  
 チェロ組曲(BWV 1007-1012)より任意の1曲。いずれも緩急2つの楽章。  
 (2) 以下の協奏曲より任意の1曲  
 F.A.Hoffmeister: D-dur 第1楽章(カデンツァ付き)  
 C.Stamitz: D-dur op.1 第1楽章(カデンツァ付き)  
 B.Bartók: 第1楽章または終楽章  
 P.Hindemith: 白鳥を焼く男(Der Schwanendreher) 第1楽章または終楽章  
 W.Walton: 第1楽章または終楽章

### <チェロ>

以下の(1)、(2)、(3)を暗譜で演奏する。(2)(3)の伴奏者は、各自同伴すること。  
尚、演奏の途中でカットする場合がある。

- (1) J.S.Bach: 無伴奏チェロ組曲(BWV 1007-1012)より任意の1曲  
いずれもプレリュード、サラバンド、ジークとする。
- (2) J.Haydn: チェロ協奏曲 第2番 D-dur より 第1楽章(カデンツァ付き)
- (3) 自由曲(ただし演奏時間は10分以内とする)

### <コントラバス>

以下の協奏曲から任意の1曲(全楽章)を暗譜で演奏する。伴奏者は、各自同伴すること。

- K.D.Dittersdorf: No.2 E-dur Kr.172(H.Gruber Cadenzas)  
J.B.Vanhal: D-dur(H.Gruber Cadenzas)  
D.Dragonetti: A-dur  
G.Bottesini: No.2 h-moll  
S.Koussevitzky: fis-moll

### ◇声乐コース

暗譜で演奏する。伴奏者は、各自同伴すること。

以下の(1)と(2)を提出し、(1)の2曲、(2)の中から当日指定された2曲を演奏する。

- (1) アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含む)1曲と歌曲1曲、計2曲。
- (2) アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含む)2曲と歌曲2曲、計4曲。  
(提出曲(2)について、オペラ研究分野志望者はアリアのみ4曲、歌曲研究分野志望者は歌曲のみ4曲でもよい)

\* 提出曲6曲は、2ヶ国語以上の作品とする。

\* アリアは原調・原語。ただし、慣習的に認められている移調、言語に関してはこの限りではない。

\* 歌曲は原語で、移調可。

\* 曲名は原語で記入すること。

\* Vocalise は除外する。

\* 前奏・間奏・後奏は省略可。

\* 各曲の演奏時間を「受験曲目票」に記入すること。

## ◇作曲コース

次の(1)、(2)いずれかを選択し、その課題を出願時に提出すること。

## (1) &lt;創作&gt;

任意の作曲作品2点の楽譜を提出する。

## (2) &lt;MSD&gt;

以下の①および②を、出願時に提出すること。

## ①自作品2点の楽譜(音源あるいは映像を添付してもよい)

※楽譜は、紙媒体(印刷物)で提出すること。

※音源・映像を提出する場合は、CD-R、DVD-R、Blu-ray、USBメモリのいずれかで提出すること。

【ファイル形式】(以下のいずれか)

音源:WAV、AIFF、mp3

映像:mp4、mov

※提出物は返却しない。提出物について、受験曲目票に記入すること。

## ②作品解説

各作品について、A4用紙2枚以内で作成すること。

以下の項目を含めること。

- ・作曲者氏名(共同制作の場合は、他分野の制作者氏名・役割を記載)
- ・作品タイトル
- ・制作意図
- ・使用した手法、機材、ソフトウェアなど
- ・制作の背景や過程、工夫した点など

## 12. 入学の条件

- 1) 指定の期日までに所定の入学手続きを完了していること。
- 2) 出願時に「2026年3月卒業見込み」であった者は、卒業を認定されていること。なお、2026年3月末日までに、卒業証書のコピーを本学に郵送すること。修了見込みの者も同様とする。
- 3) 願書提出時に学位授与機構に学士の学位を申請していた者は、学位を授与されていること。なお、この場合は、2026年3月末日までに、学位記のコピーを本学に郵送すること。
- 4) 入学の許可を受けた者は、すみやかに留学生としての在留資格「留学」を取得またはこれに変更し、入学までに本学所定の入学手続きを完了すること。

## 13. 入学手続

- 1) 入学手続の方法:原則郵送での提出とする。ただし郵送での提出が難しい場合は持参提出も認めるが、事前に入試係(+81-03-3307-4122)へ電話連絡し許可を得ること。
- 2) 入学手続の期限:**2025年11月13日(木)～11月24日(月)PDF送信必着、12月11日(木)郵送必着**
- 3) 提出書類等(予定):
  1. 「14.入学金・授業料等」の振り込みを証明する書類(コピー可)
  2. 誓約書(本学が指定する用紙)
  3. 身元保証書(本学が指定する用紙)
  4. 学籍台帳(本学が指定する用紙—要・タテ7cm×ヨコ5cmの写真貼付)
  5. 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)
  6. 保健調査票またはそれに代わる確認書類(予防接種歴確認書)
  7. 著作隣接権等の取り扱いに関する同意書 他

## 14. 入学金・授業料等

内容	金額	備考
1. 入学金	250,000円	入学時のみ
2. 授業料	1,200,000円	年額、半期ごとに半額納入する
3. 施設設備費	200,000円	年額、半期ごとに半額納入する
4. 教育充実費	100,000円	年額、半期ごとに半額納入する

(注)入学手続き時には、1. の全額及び2. 3. 4. の半額を納入する。【合計 1,000,000 円】  
 ※経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

## カリキュラムについて

## カリキュラム・ポリシー

修士課程は音楽専攻のもとに、ピアノ、弦楽器、声楽、作曲、音楽学、室内楽、ソルフェージュ教育(※)の7コースで構成され、専攻としてのカリキュラム・ポリシーは以下の通りである。

※2026 年度 修士課程(外国人留学生)入試においては、室内楽コース、ソルフェージュ教育コースの募集は行わない。

大学院修士課程は、音楽の演奏、創作、研究に不可欠な高度な能力を修得し、自立した活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。そのために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技・論文指導あるいは実習・演習等を履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。

## 修了要件等について

◎ 修了要件及び履修方法等 <https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/m-curriculum/>

- ・修士課程に2年間以上在籍し、教育課程表に定める専門科目の必修 10 単位、コースにより定められた科目合計4科目8単位を選択必修、その他の専門科目・関連科目の中から12 単位以上、合計 30 単位以上修得し、修士論文(音楽学を除くコースでは、研究レポートをもって修士論文に代えることができる。)の審査及び試験に合格するとともに、コースにより、修士論文に加えて修了演奏または修了作品の審査に合格すること。

指導教員等については、以下(本学 WEB サイト)各コースの紹介ページに掲載している。

<https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/>

## 特待生および奨学金制度、学生会館について

### 特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技等の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・授業料・教育充実費などを一部または全額免除する。

### 奨学金制度

経済的な理由により就学が困難な者を対象に、奨学金制度を設けている。

#### ◎ 桐朋学園音楽部門奨学金

向学心をもちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(10月)給付する。原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠しつつ、実状を考慮し決定する。

#### ◎ 宗次徳二桐朋学園大学大学院特待奨学金

入学試験の成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付することをもって、次世代の音楽界を担うことが期待される大学院生の教育を支援することを目的としている。

対象者: 修士課程1名、博士後期課程1名

給付額: 年間120万円(入学から修了[標準修了年限]までとする)

#### ◎ 桐朋学園音楽部門 佐々木成子賞 奨学金 (声楽専攻・声楽コース・声楽研究領域対象)

音楽学部声楽専攻生のうち、年間を通じて優秀な成績を修めた者に対し奨学金が給付される。

#### ◎ 桐朋学園音楽部門 留学支援 江崎スカラシップ

次世代の音楽界を担うことが期待される大学・大学院・ディプロマコース・大学院大学のピアノ・弦楽器専攻生を対象に海外留学支援のための奨学金が給付される。

対象者: ピアノ・弦楽器専攻生2名 給付金額: 1名につき500万円(ただし、1回限り)

### 学生会館

自宅通学が困難な女子学生のために、調布キャンパスより徒歩約5分(京王線調布駅より徒歩約15分)の場所に学生会館を用意している。<問い合わせ: 学生支援チーム(+81-3-3307-4106)>

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額78,000円
その他	・7:00～23:00まで練習可能 ・入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。 ※経済情勢の変動等に応じて次年度以降の入居時の諸経費については改定があり得る

## 学生募集要項全般に関する問い合わせ先

桐朋学園大学 事務局 入試係

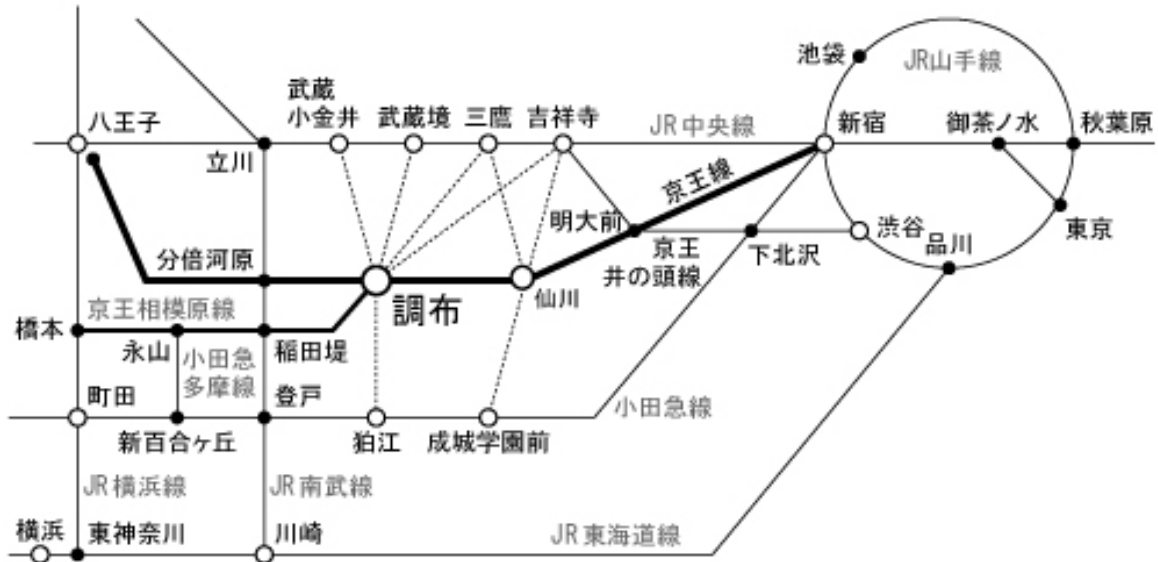
Tel: +81-3-3307-4122 E-mail: exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間: 月～金: 午前9時～午後4時

(祝日や長期休暇期間中の、事務局閉室日は対応できません。)

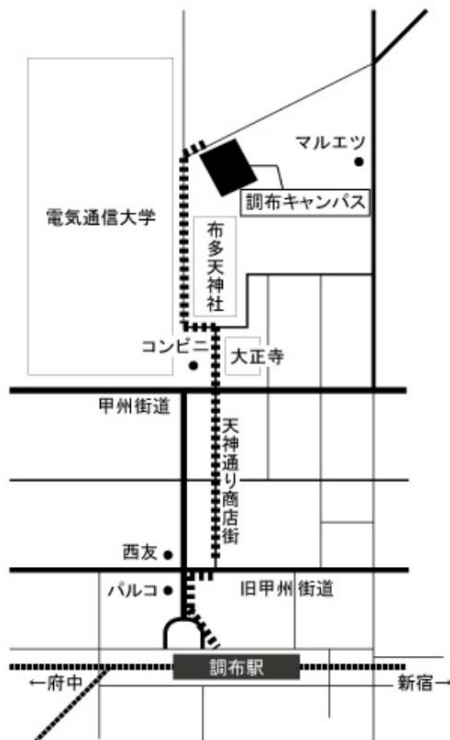
## 交通機関案内図

### 京王線調布駅〔新宿から特急で約20分〕



### ◆調布キャンパス 京王線 調布駅より徒歩10分

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 TEL : 042-444-7055



#### 京王線以外からのルート

##### ●小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約20分)

小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き  
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車  
徒歩 10~12分

##### ●JR中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、 「武蔵小金井」駅発

(バスの所要時間約30~40分)  
小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)  
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)  
「調布駅北口」バス停下車 徒歩 10分



修士課程(外国人留学生) 志願票

楽器略語・コード

コース	楽器略語	コード
ピアノ	ソロ	P f 0 1
	歌曲伴奏	P f 2 0 2
	コレペティション	P f 3 0 3
弦楽器	ヴァイオリン	V l 1 1
	ヴィオラ	V a 1 2
	チェロ	V c 1 3
	コントラバス	C b 1 4
声楽	オペラ	O p 7 3
	歌曲	L i 7 4
作曲	創作	C o 8 1
	MSD	C a 9 9
音楽学	Mu	9 1

楽器略語	コード	受付番号
		※

※受付番号は記入不要

写真貼付欄

上半身無帽  
カラーまたは白黒  
写真裏面氏名記入  
タテ 4cm×ヨコ 3cm

氏名	フリガナ (セイ)	(メイ)	生年月日	(西暦)
	戸籍名記入(姓)	(名)		年 月 日
			性別	2026年4月1日現在の年齢 歳 (任意)

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

本人連絡先等	〒 住所	
	自宅TEL	携帯TEL
	メールアドレス(必須)	
	保証人 (氏名)	(TEL) (本人との関係)

出願資格(出身大学)

※出願資格2)③により出願する者は記入不要

学校区分	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 外国の学校 5. その他( )
大学名	大学 学部 学科 専攻
卒業(見込)年	(西暦) 年 月 卒業・卒業見込 (○をつける)

音楽学コース 小論文言語	1. 日本語 2. 英語 (選択する言語に○をつける)
実技担当 希望教員	第1希望:
	第2希望:
楽器の使用希望 (コントラバス)	障がい
	配慮希望の有無・内容

記載した内容は入学試験以外の目的では使用しません。

2026 年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程(外国人留学生)

# 受験曲目票

氏名	フリガナ (セイ)	(メイ)
	戸籍名記入 (姓)	(名)

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

楽器略語	コード	受付番号
		※

※ 受付番号は記入不要

コース選択	ピアノ：(1)・(2)・(3)	声楽：オペラ・歌曲	口述試験：日本語・英語
課題記号・番号 ( )			
演奏時間 ( ) 分 <声楽コースのみ記入>			
課題記号・番号 ( )			
演奏時間 ( ) 分 <声楽コースのみ記入>			
課題記号・番号 ( )			
演奏時間 ( ) 分 <声楽コースのみ記入>			
課題記号・番号 ( )			
演奏時間 ( ) 分 <声楽コースのみ記入>			
課題記号・番号 ( )			
演奏時間 ( ) 分 <声楽コースのみ記入>			
伴奏者・共演者氏名			
作曲コース (2) <MSD> ①			
1	作品タイトル	楽譜 (紙面)・ CD-R・ DVD-R・ Blu-ray・ USBメモリ	
2	作品タイトル	楽譜 (紙面)・ CD-R・ DVD-R・ Blu-ray・ USBメモリ	

2026 年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程(外国人留学生) 履歴書 ①

氏名	フリガナ (セイ)	(メイ)
	戸籍名記入 (姓)	(名)

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

楽器略語	コード	受付番号
		※

※ 受付番号は記入不要

学歴(高等学校から最終出身学校まで)

\* 西暦で記入

学校名(学科・専攻)	入学・卒業(見込)年月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

職歴

\* 西暦で記入

勤務先	在職期間
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日

(履歴書②に続く)

2026 年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程(外国人留学生) 履歴書 ②

氏名	
----	--

受付番号
※

音楽歴 (師事した指導者やコンクール入賞等について記入すること)

2026 年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程(外国人留学生) 研究計画書 ①

氏 名	フリガナ (セイ)	(メイ)
	戸籍名記入 (姓)	(名)

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

楽器 略語	コード	受付番号
		※

※ 受付番号は記入不要

入学後の研究テーマ及び内容について、具体的に記入してください。

<研究テーマ>

<研究目的>

(研究計画書②に続く)

2026 年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程(外国人留学生) 研究計画書 ②

氏名	
----	--

受付番号
※

<研究の動機及びこれまでの準備状況>

<研究内容及び研究方法>

<p>2026 年度</p> <p>桐朋学園大学</p> <p>大学院音楽研究科</p> <p>修士課程（外国人留学生入試）</p> <p>入学試験 受験証</p>	
受付番号	*
楽器略語	
フリガナ	
氏名 <small>(アルファベット)</small>	
<div style="border: 1px solid green; width: 60%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> <p>写真貼付 (全面のり付け)</p> </div>	

≡キリリ

[受付番号の欄(\*)について]

記入しないこと

[氏名について]

外国籍の場合はアルファベット名を併記すること

[写真について]

1. 正面、上半身無帽
2. 背景なし
3. 最近3か月以内に撮影のもの
4. タテ 4cm×ヨコ 3cm
5. 写真裏面に氏名を記入し貼付する

出願書類送付先票（貼付用）

〒182-8510

東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋学園大学

事務局 入試係

（電話番号）03-3307-4122

切り✂

※ハサミで切り取ってからレターパックへ貼付してください

※レターパックの郵便番号記入欄は空欄ではなく、必ず『182-8510』とご記入ください。

※品名：Contents Descriptionの欄には

『大学院 修士課程 出願書類』とご記入ください。

Shipping address from abroad

Office of

TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

1-41-1 wakaba-cho

Chofu-shi, TOKYO, JAPAN

Postal code 182-8510

TEL +81-3-3307-4122